

BiG-i Communication Paper
 i-co, it peels off and it means the tie in, Japanese. This is a word that shows an equal relation without the win and the defeat either. i-co sends information helps regardless of the handicapped person or the able-bodied person by the spirit of this dividing each other.

2011 vol. **2**

特集

旅にでかけよう!

ラ

イフ・イズ・ジャーニーなんて言葉があるように、人生を旅にたとえることがありますね。それは、旅の本質が、異文化との交流を通して多様な価値観を知ったり、自分の可能性を試すことで新しい自分を発見したりすることにあるからなのです。今回は、車イスに乗って世界100か国以上を旅し、「空飛ぶ車イス」という称号を持つビッグ・アイのアドバイザー スタッフ・木島英登さんに独自の「バリアフリーな旅」を案内していただきました。もしかしたら、人生を変えるような出来事があるかも…。



台湾からエールが届いています!

は ~い! 空飛ぶ車イスのきーじー、元気ですか? 今年は現地の障がい者運動を助けるためにモンゴルに行ってきましたよ。旅って、ほんとうにいいですね。今まで気づかなかった違う自分を見つけたり、新しいものの見方を知ることができたり、自分の可能性がわかって自信がついたり…。旅には、人間を成長させる力がありますね。研修で日本に行ったとき障がい者が自立している姿を見て、すごく刺激を受けました。だから、私も母国で障がい者の自立生活運動の仕事をしているのでしょね。これからも世界中を旅して、もっと大きな人間になりたいと思います。

●林君潔 通称、リンリン。台湾在住。台北自立生活支援協会 総幹事。先天性骨形成不全症。旅行が大好き。2005年、ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー研修 第6期生として来日。2007年、台湾初の自立生活センターを台北市に設立。



リ リンリン、ありがとう。お元気そうでなによりです。台湾と一緒に旅行をしたときは楽しかったね。相変わらず僕も旅がやめられません。日常とは違う環境で大変なことも多いのだけど、適応する自分がいたりするね。車イスでの旅行は手助けしてもらうことが多いけど、逆転の発想で考えると、それだけ現地の人と接する機会が多いってこと。言葉は通じなくても、なんとなく心が通じたときは最高の瞬間だね。そうそう、台湾では食事が美味しかった。小籠包、タピオカミルクティー、豆腐、しみみ……。今まで食べたことのない美味しいものに出会ったときも、幸せを感じるよね。

